

平成 27 年 2 月 16 日

秦野市長 古谷 義幸 殿

渋沢丘陵を考える会

**相模メモリアルパーク第2霊園(秦野・渋沢地区)開発事業に伴う工事工程表とそれに付随する自然環境保全作業計画日程を事前公開する事と、即時工事中止を求める要求書**

### 要求趣旨

標記事業は、平成26年10月3日の経営許可決定により、同年11月10日着工しました。つきましては、標記事業の工事工程表、及び工事工程に沿った自然環境保全作業計画日程を、直ちに明らかにする事と、猛禽類の繁殖期に入ったため直ちに工事を中止する事を要求します。

### 要求理由

- 1、私達は本要求に先立ち、昨年12月15日付で貴職にえのきの移植作業の予定と、オオムラサキの具体的保護対策を明らかにするよう求めました。しかし、要求書送付以降に行われた同作業について、すべてが終了した本年1月16日付けで、事業者から報告があったとの表現で回答がありました。
- 2、貴職は当会に寄せた、平成26年5月2日付の秦野市生物多様性地域連携保全活動計画と渋沢霊園造成事業について(回答)で、「環境への配慮事項について具体的な対応策を事業計画に反映するとともに、県と連携を図りながら、環境への影響を最小限にするよう指導していきます。」と回答されています。
- 3、しかし、今回の回答書は指導結果の検証を放棄していると思われたい内容です。
- 4、当会の観察によると、現地では猛禽類(ノスリ)が繁殖期に入り、求愛行動を行っています。事業者は森林審議会からの答申を踏まえて神奈川県へ修正提出した林地開発許可申請書において、「猛禽類保護の進め方」(環境庁。1996 年)を引用した「オオタカとノスリの一般的スケジュール」をもとに、猛禽類の繁殖スケジュールに配慮した工事計画を約束しています。
- 5、また事業者は、同林地開発許可申請書の環境保全方針の中で、「特定個体の保全が必要な重要種について保全対策を実施する。」と述べ、重要植物(エビネ、オトメアオイ)や水生生物(ゲンジボタル他)の保全対策を約束しています。

以上より、事業者任せではない積極的指導監督による環境保全を図るため、工事工程表と工事工程に沿った自然環境保全作業計画日程を、速やかに明らかにする事と、繁殖期に入ったノスリ(付近での営巣が期待される)の保全の為、直ちに工事を中止する事を求めるものです。

以上

本件に関する問い合わせ及び回答は

〒257-0012 秦野市西大竹 302-11 鈴木和郎 TEL・fax 0463-81-9109

にお願いします。